



# 国際交流ひろば

# 6

月号

## KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 262/ June 2023

### 香港の大学生と、お家で**国際交流**してみませんか？ 7月23日(日)～29日(土) 7日間

# ホストファミリー

## 募集中！

日本語でOK！



国際交流協会では、この夏、日本語を学んでいる香港の大学生を受け入れて日本語研修を行います。家族の一員として彼らを迎えて、楽しい時間を一緒に過ごしてみませんか。

### ホームステイ中のスケジュールは？

ホームステイ期間中（23日～29日）も、日中は概ね、日本語研修や文化体験のプログラムを実施します。

日にち	午前（9：00～12：00）	午後（13：00～17：00）
7月 23日（日）	香港学生との対面式	香港学生との自由時間
24日（月）	日本語研修	香港学生との自由時間
25日（火）	日本語研修	茶道体験
26日（水）	日本語研修	大学訪問
27日（木）	日本語研修	日本語研修
28日（金）	香港学生との自由時間	
29日（土）	日本語研修成果発表会	修了式・お別れ会

- 香港学生は、17日に鹿児島島に到着し、日本語研修をスタートします。
- 灰色で示した部分及び夜間が、ホストファミリーが香港学生と過ごす時間となります。（単独行動も可）
- 対面式や研修、修了式等は、かごしま県民交流センター（鹿児島市山下町14-50）で行います。
- 日本語研修の日は、香港学生は、自分で公共交通機関を利用して県民交流センターに通学します。

### ホストファミリーの申し込みに際しての要件は？

- 国際交流に興味と意欲をもって、香港学生を家族の一員として迎えてください。
- 23日の迎えと29日の送りは、香港学生はスーツケースなどの荷物があります。お車での送迎をお願いします。
- 7月9日(日) 午前中に1時間程度の事前説明会、7月23日(日) 対面式及び7月29日(土)に学生の日本語研修成果発表及びお別れ会を実施します。参加必須です。詳細につきましては、改めてご連絡します。
- 受入のご家庭には、食費等の諸経費として、1名1泊につき2,000円を国際交流協会からお支払いします。
- 上記期間中に、他のホームステイ受入れを予定されているご家庭は、予めお申し出・ご相談ください。

### 申し込み方法、締め切りは？

メール、FAXにて、申込用紙をお送りください。申込締切日は**6月6日(火)**です。

**申込み先** 公益財団法人鹿児島県国際交流協会（担当：谷口）

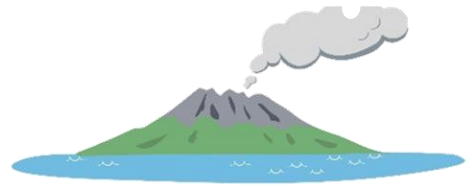
TEL：099-221-6620 FAX：099-221-6643 メール：kia6@kiaweb.or.jp



(公財) 鹿児島県国際交流協会 HP

# 「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。今回は、県内在住でタイ王国ご出身の 満吉ユピン さんをご紹介します。



## ユピンさんの出身地について教えてください。

私はタイのシーサケート県の出身です。カンボジアとの国境に面している地域で、首都のバンコクから飛行機だと1時間程、車で行くとも10時間くらいかかります。実家の周りには田んぼや畑があって、米や野菜、果物などを作っていました。都会と違って、時間がゆっくり流れています。鹿児島に初めて来た時には、ここの雰囲気私の田舎に似ていると思いました。



タイご出身の満吉ユピンさんとご主人の満吉裕美さん

## タイでは家族間でもニックネームで呼び合うと聞いたことがあります。ユピンさんにもニックネームはありますか？

家族や親戚には、小さい頃から「ナン」と呼ばれています。「ナン」は、父がつけてくれて、タイ語で小さな子に対して呼ぶ「お嬢ちゃん」というくらいの意味です。ですが、働くようになり、会社では、「ユ」と呼ばれていました。「ユピン」の最初の文字をとった呼び方です。簡単で呼びやすいですね。夫にも「ユ」と呼ばれています。

## ご主人は日本人ですね。ご主人との出会いを教えてください。



ユピンさんのご出身地シーサケート県の様子

タイで同じ会社に勤めていました。夫は、日本から駐在員としてその会社に来ていて、私は、受付業務をしていました。そこで頻りに顔を合わせるようになり、付き合うようになりました。

交際中には、互いの習慣が違うことで、誤解が生じ、喧嘩もたくさんしました。そんなこともあり、結婚については自分でも信じられなかったんです。でも、どんな夫婦でも喧嘩はするし、自分が全て正しいわけではなく、お互いに良いところも悪いところもあると考えるようにしました。それに、夫はタイ語の勉強をすごく頑張っていましたし、カーナビのような便利なものもない当時、私の実家まで車で10時間もかけて来てくれたんです。私の家族とたくさん話をしてくれて、うちとけてくれました。

## ご家族は、日本に帰ることは反対しましたか？

そうですね。私の実家があるシーサケート県では、末っ子が親と一緒に住むという習慣があります。日本は、長男や長女がそのようにする習慣がありますよね。タイと反対ですね。私には兄が2人いて、私が末っ子です。でも、家族は「ナンの気持ちを優先させなさい。」と言って、私を送り出してくれました。今は、兄が実家に帰って、両親の農業を手伝ってくれています。

## 日本にはいつ来たんですか？

11年前に来日しました。結婚当初は、タイで暮らしていたの

ですが、子どもが小学校に上がるタイミングで夫の実家がある鹿児島島にきました。最初は、日本語が全くできなかったのですが、とても不安でした。日本語教室に通ったり、日本語とタイ語の辞書を使って、わからない単語はどんどん調べるようにして勉強しました。日本語は、ひらがな、カタカナ、漢字と3種類あって、しかも意味が一つではないですね。それに敬語もあるので、使い分けるのがとても難しいです。今では、仕事でも日本語を話すようになりました。

## お仕事について教えてください。

鹿児島に来てからずっとタイ式マッサージのお店で働いています。

言葉ができない外国人が日本で働くのはなかなか難しいと思ったので、経験はなかったのですが、タイでセラピストの資格を取得したんです。日本で働くには資格があった方が良いでしょう。

## 鹿児島弁には慣れましたか？

私は、来日してからずっと鹿児島に住んでいるので、自分が話す言葉が標準語なのか、鹿児島弁なのかよくわかりませんが、鹿児島弁で話すことが多いかもしれません。以前、福岡の出入国審査で、何気なく「ですです」と言ったら、「鹿児島から来たんですか？」と聞かれました。なぜわかったのか不思議に思っていたら、「鹿児島弁を話していますよ。」と言われました。そこで、初めて「ですです」が鹿児島弁だと気づいたんです。夫よりも鹿児島弁を話しているかもしれませんね(笑)

## 鹿児島での暮らして驚いたことや困ったことはありますか？

一番ビックリしたことは、桜島の灰です。職場まで自転車で通っているのですが、マスクをつけずにいたら鼻の穴が真っ黒になっていたことがありました。それに、灰が髪の毛にたくさんついていて、毎日髪を洗うのが大変だったので、今は帽子をかぶっています。桜島は本当にきれいで大好きですが、噴火したら大変ですね。

それから、子どもの学校からのお便りは、読むのが難しく、全て夫に対応してもらっていました。同級生の保護者の方には、「私は外国人で、言葉もあまりわからないので教えてください」と最初に伝えていたところ、みなさんすごく優しく「大丈夫ですよ」といって助けてくれました。今では、お茶を飲んだりする友達もできました。

## ご主人と文化の違いを感じることはありますか？

子育てのことで感じるがあります。タイでは、日本でいうしつけというのはなくて、親はあまり子どもを叱ったりしません。私も親に怒られたことはなく、初めて怒られたのが夫でした。ですので、子どもの育て方などでぶつかることはありますね。

## 外国の方が住みやすい鹿児島にするには、どんなことが必要だと思いますか？

私は、最初から鹿児島で暮らしているのですが他の県と比べるとできないのですが、タイと比べて日本は生活費が高いです。また、鹿児島はお給料が安いと感じることがあります。東京や大阪にいる友人と比べると同じ仕事をしていてもお給料が全然違うので、羨ましいと思います。そういったところが良くなれば良いと思います。

でも、鹿児島の人には、優しい人が多くて、いつも助けてもらっています。街もとてもきれいで良いところだと思っています。

# 「かごしまから見える世界」 Vol.15

かつてから外国との交流が盛んだった鹿児島。鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所をご紹介します。今回は、鹿児島市の姉妹都市などにまつわる場所についてご紹介します。

## 【道と国際交流】

「君のオ行く道はアア、果てしなく遠いッ」。「僕の前に道はない。僕の後ろに道はできる。」すべての道はローマに通ず」  
のつけから意味不明のことを書いているが、今回は「道」と「国際交流」について、鹿児島市をあちこち歩きながらご紹介していきたい。

## 【火山があるということ】

鹿児島市には、海外の姉妹都市の名前を冠した通りがいくつもある。まず「ナポリ通り」。鹿児島中央駅から東に向かい、甲突川を越えて新屋敷交差点までの延長約900mの広い道。路肩にある案内板に鹿児島市とナポリとの交流の由来が書いてあるが、それは言わずと知れた「火山と海」。桜島とベスピオ火山、錦江湾とナポリ湾を有する両都市の風景が非常に似通っていたことから、1960年に姉妹都市盟約を結び、これを記念して鹿児島に「ナポリ通り」がナポリに「鹿児島通り」が命名された。在イタリア日本国大使館のHPを見ると、なんとこの盟約が日伊間の姉妹都市協定としては日本で最初のものであるという。その後、盟約50周年の2010年には、ナポリ市内の広場が「鹿児島広場」と命名され、また、鹿児島ではこの通りを中心会場として、地元企業などが主催する「風と光とナポリ祭」が開催されている。（\*現在は、近隣の公園で開催）



ナポリ通り

## 【32度の縁】

次は「パース通り」。ナポリ通りに続く、新屋敷交差点から東に錦江湾海岸まで延びる約900mの道路。ところで、パースはオーストラリアの西岸の都市であるが、なぜ鹿児島市との縁があったのか。その答えは、鹿児島市は北緯32度の太陽とみ



パース通り

どりの街、パースは南緯32度のひかりの街を標榜し、同緯度で似通ったところであったから。1974年に姉妹都市盟約を結び、パースには「鹿児島公園」がある。ところで、鹿児島市の平川動物公園にはコアラが沢山いるが、これはパース市ではなく、クイーンズランド州政府との協議を経て、最初の2頭がやってきたもの。

## 【マイアミは短い?】

三つ目は「マイアミ通り」。天文館近くのいづろ交差点から同じく東に海岸まで延びる約350mの通り。距離は短い、この通り沿いには「マイアミ」を冠した民間駐車場があったり、有名なかき氷屋さんがあったりして、海に開けた場所という感じがする。マイアミ市との盟約は1990年。同市には「鹿児島通り」がある。



フロリダ州マイアミにある「鹿児島通り」

## 【長沙市とは建物で】

さてここまでは「姉妹都市」の紹介であるが、そのほか、中国・長沙市と鹿児島市の間には「友好都市」締結が交わされている。鹿児島は中国大陸に近く、鑑真和上（がんにんわじょう）や遣唐使船など歴史的關係も深いことから、1982年3月、長沙市からの申し入れを受けて、友好都市締結をした。それを記念して、天保山公園に「共月亭」という中国風東屋（あづまや）が建てられた。これは、長沙市の岳麓山に建つ「愛晚亭」を模したもので、屋根の軒端の反りが見事で、松林を背景にしたその姿はまったく中国の一風景を想起させる風情である。一方、長沙市には、この盟約締結を記念して、駅前の曉園公園に『友好和平の像』が建てられている。



共月亭

麓山に建つ「愛晚亭」を模したもので、屋根の軒端の反りが見事で、松林を背景にしたその姿はまったく中国の一風景を想起させる風情である。一方、長沙市には、この盟約締結を記念して、駅前の曉園公園に『友好和平の像』が建てられている。

## 【路面電車】

さて、ここまで、道路の話をしてきたが、鹿児島市では軌道を走る路面電車にも「マイアミ&パース号」「ナポリ&長沙号」と名付けて、それぞれ特徴ある内外装を施して運行している。そしてそこに、3年前から「ストラスプール号」が仲間入りした。



ストラスプール号

ストラスプール市はドイツとの国境に近いフランス東部の街で、世界史によくでてくるアルザス地方にある。鹿児島市と同じく路面電車を活用したまちづくりを進めていることから、お互いに訪問団を派遣し、2019年11月にストラスプール市においてパートナーシップ協定を締結した。「ストラスプール通り」はまだないが、両市は青少年や公共交通政策、スポーツなど6分野での交流により絆を深めている。

## 【コロナ禍を超えて】

ここまでの記事は、鹿児島市国際交流課の大谷航介主任への取材や同市のホームページなどを参考とした。同じによれば、これまでの数十年来の交流でこれらの姉妹都市などを訪れた鹿児島市の青少年は、優に1,000人を超えるという。この夏もパースへの派遣やマイアミからの受入など、若い世代の活発な往来が計画されている。  
鹿児島市の国際交流に関するいろいろな記念品等は、市役所本庁西別館2階の国際交流サロンにも数多く展示・公開されている。姉妹都市の通りを歩いて、或いは姉妹都市の電車に乗って、一度訪れてみてはいかがだろうか。

## 《国際交流サロン開催時間》

月曜日・金曜日 午前8時30分～午後5時15分  
(祝日、年末年始等は休館)



世界各地で活躍する鹿児島ゆかりの方からのお便りです

# 世界あちこち便り

戊辰戦争で戦った薩摩と会津が、ここ米国カリフォルニアのサンタローザで、お茶の木を通じて時空を超えて平和に繋がるという不思議なお話です。先人たちの苦勞を偲び、供養の意も込めて、ご紹介します。

## 〔ナパで聞いた声〕

今から6年前(2017年)、カリフォルニアのナパで、ある仕事をした僕がワイン畑を眺めていると『ここでお茶の木を育てたらどうですか?』という女性の声が聞こえました。ワインのメッカとして世界的に有名なナパから日本茶!!

その声に動かされ、農家をいくつか訪問し、そこで Gold Feather Tea Farm のマイクフリッツ氏と出会い、150年前に会津の移民が持って来たお茶の木の末裔と呼ばれるお茶の木の存在を知ります。そして、ナパにある有機栽培の農家ジャックラビットファーム(JRF)に土地を借り、100本のお茶の木を植えました。しかし、2020年にJRFが売却されることになり急所移転地を探した際に、かつて長澤鼎が所有していた Fountaingrove Winery (現在のパラダイスリッジワイナリー)と繋がります。早速、連絡をし会いに行き、若松ファームの歴史的背景を説明すると、すんなりとワイナリーの土地を提供してもらえることになり、Wakamatsu Fountaingrove Tea Farm と命名し茶畑を開くことになりました。ここに育つお茶の木は、彼らの歴史を残すアイコンであり、日系パイオニアの歴史保存と日本文化の継承の役割を担うものであると思っています。

## 〔長澤鼎の物語〕

幕末の薩摩藩士であった長澤鼎(当時13歳)ら19名の留学生が鹿児島串木野から英国へ渡ったのが1865年、今から158年前です。2年後、長澤は米国へ渡り、1875年にサンタローザ(カリフォルニア州)にワイナリーを開きます。1893年には当時のカリフォルニアワインの生産量の1割を占める大手に成長し、King of Wine とまで呼ばれる存在になりますが、その後は、葡萄の木の害虫、火災、禁酒法、排日運動と過酷な人生を歩むことになります。

## 〔会津若松の人々の物語〕

時同じく1869年、戊辰戦争で薩長同盟に敗れた会津若松人22名が、ジョンシュネルというプロシア人に率いられ、カリフォルニア州ゴールドヒルにたどり着き、Wakamatsu Tea and Silk Colony を開きます。当時、商品として最も価値のあるお茶と絹を生産し生計を立て、会津から多くの移住者を呼ぶ計画でしたが、干ばつやゴールドラッシュで水が思うように手に入らず、2年後にコロニーは解散。ジョンシュネル家族の子守として17歳で一緒にやって来た”おけい”は19歳で亡くなります。米国で最初に埋葬された日本人女性でした。

## 〔歴史と文化がカリフォルニアで繋がる魔法のお茶〕

ところで、この二つのグループにはどちらも現在、子孫がないのです。

若松コロニー解散の後、おけいと一緒ゴールドヒルに残った桜井松之助が、おけいが亡くなってから15年間お金を貯め、自費でおけいの墓石を作ったことで、かろうじて彼ら若松コロニーの歴史の足跡は残っています。

また、長澤鼎も、彼の亡くなった後、ファウンテングローブワイナリーの莫大な土地財産はカリフォルニア州外国人土地法等のため子孫が相続することはできず、他人の手に渡り、売却され消滅しました。

あの日、私が聞いた『ここでお茶の木を育てたらどうですか?』という女性の声は、ひょっとしておけいさんの声だったのか?僕は光栄にもおけいさんたちと長澤鼎に選ばれたのかもしれない?

昨年2022年には、長澤鼎生誕170年のイベントをパラダイスリッジワイナリーにて開催、日系パイオニアたちの功績を称えることができました。

また、不思議なご縁で、鹿児島の志布志市にあるお茶の会社と繋がることができ、社長さんのご好意で若松ファウンテングローブティーファームの『レガシーズブレンド』というお茶を作ってもらい、2023年5月より米国にて販売されることとなりました。日本でも、近日中に発売する予定であり、遠い昔、日本から米国に来たパイオニアの功績を、このお茶を通じて、未永く語り継いで欲しいと願っています。

as symbols of pioneer dreams unrealized and perhaps now fulfilled.



「お茶園」の様子

## 馬上 直(まがみ なお)さん (米国・カリフォルニア州在住)



カリフォルニア大学で広告/マーケティングを学び、米国の広告代理店に勤務。後に独立し、オリンピック、ワールドカップサッカーなど国際的なイベントや数多くのクライアントのマーケティングに携わる。

2017年より歴史的意義を持つお茶の木の栽培をし、日本文化を日本茶を通じて日本文化を広める活動を展開。

全米日系人博物館及び The Gamble House における歴史解説や、UCLA/UCS/日本の大学での Self Marketing 講義にも従事。

# 種子島国際友好協会

西之表市



種子島国際友好協会の事務所

## ◆種子島国際友好協会とはどのような団体ですか？

種子島は、歴史的にも国内で最も早く国際的交流の進んだところの一つであり、現在も国内外から移住してくる人々を多く受け入れている島であります。そうしたことから、島民と在住外国人との交流を深め、島民の国際感覚の醸成・国際人育成を図るために昭和 62 年 12 月に設立されました。

## ◆今後の活動について教えてください。また、県民の方はどのように関わることができますか？

昨今のコロナ禍での活動自粛のタイミングで、長年活動を続けて来られた前会長率いる役員メンバーが引退し、令和 4 年 4 月から会長をはじめ、役員構成が一新しました。まだ活動を引き継いだばかりだったこと、アフターコロナを見据えての活動ということで本格的な活動がスタートできずにいましたが、今年は、日ポ交流 480 周年という節目でもあるので、まずは親子で参加・活動できる関連プログラムの企画や、市が主催するイベントなどへの出店などを予定しています。



新会長の宇野裕未さん

## ◆県民の方へメッセージをお願いします。

今年は、日ポ交流 480 周年です。種子島でも関連イベントが実施されますので、ポルトガルの交流の歴史から派生し、今に伝わる「もの」を発見する、味わう、体験できる、そのような小旅行に来て頂けると嬉しいです。

種子島国際友好協会

〒891-3116 鹿児島県西之表市鴨女町 173 番地 リゾームコーヒー内

TEL : 050-3708-3501

詳細は  
こちら  
から→



# かごしまの 国際交流団体紹介



## 特定非営利活動法人じゃっと

薩摩  
川内市

## ◆特定営利活動法人じゃっととはどのような団体ですか？

理事長である 帖佐 理子 が夫の赴任地であるラオス人民共和国を訪れた際見た学校施設と衛生環境に驚き、「学校保健」の概念をラオスの地に定着するべく 1993 年に NGO として立ち上げました。インドネシアの「小さなお医者さん」活動を参考に活動を開始、多方面の賛同者の力を借りラオスの地に学校保健の概念を持ち込んでいます。

## ◆どんな活動をしていますか？また、県民の方はどのように関わることができますか？

学校施設の充実、衛生状態の把握、教師や子どもたちへの衛生教育活動を中心とした現地活動とともに、各種イベントへの参加、ラオスへの視察ツアーや教材作りなどの国内活動を行っています。国内活動への皆さんの参加を期待します。

## ◆県民の方へメッセージをお願いします。

当初の目標であったラオス内における学校保健カリキュラムは教員養成課程へ盛り込まれましたが、田舎へ行くと学校教育施設はまだ支援が必要な状況です。ご協力をお願いします。



「ラオスの小学校にて」

特定非営利活動法人 じゃっと

〒895-0051 鹿児島県薩摩川内市東開間町 3-1

TEL/FAX (0996) 27-0193

HP



①吹上浜砂の祭典に出展しました！

5月3日～5日に開催された砂の祭典に、南さつま市と連携して、国際交流ブースを出展しました。世界の楽器や衣装の体験、JICA 海外協力隊のパネル展示など、盛りだくさんの内容で、来場者の方々に世界を体験してもらいました。

約5万人もの来場者があった今回の砂の祭典。皆さまにとって少しでも世界が身近なものとなりましたら嬉しいです。ご来場頂いた皆さま、ありがとうございました。



JICA デスク鹿児島 担当:飯屋 TEL:099-221-6624 (公財)鹿児島県国際交流協会内

②JICA 海外協力隊の春募集スタート！



デスクでは、個別相談を受付けております。  
お気軽にお問い合わせください。



がいこくじんそうごうそうだんまどぐち  
**外国人総合相談窓口**

かごしま す がいこくじん かた そうだんまどぐち  
鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

たいおうげんご : にほんご えいご ちゆうごくご かんこくご  
**対応言語** : 日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/  
タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/  
ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/  
ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語/  
ヒンディー語/ベンガル語/ウクライナ語

かごしまけん こくさいこうりゅうきょうかいない  
鹿児島県国際交流協会内  
TEL : 070-7662-4541  
E-mail : kiasoudan@gmail.com



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会  
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50  
かごしま県民交流センター1階  
Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643  
URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>  
Email: [kia@kiaweb.or.jp](mailto:kia@kiaweb.or.jp)  
Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。